

- ▶ 平泉町では、令和4年度から森林経営管理制度による集積計画の作成を進めており、令和5年度から集積計画に基づき町の管理事業により間伐を開始した。
- ▶ 対象地の多くは条件不利地であり、景観保全など森林の公益的機能を発揮させるための切捨間伐を実施。

事業内容

令和6年度は下記の事業を委託により実施した。

経営管理権受託森林間伐業務

【事業費】5,027千円（うち譲与税4,708千円）

【実績】令和5年度までに集積計画を作成した森林のうち10.96haにおいて切捨間伐を実施した。

取組の背景

- 当町では森林環境譲与税の譲与額が少額であることから、用途を限定して効率的に活用していく必要がある。そのため、集積計画の作成とそれに基づく間伐を重点的に実施することとして業務を進めている。
- 令和6年度は上記のとおり、集積計画を作成した森林における間伐を進め、森林環境の改善を図った。



（現地調査（間伐前））



（間伐後）



（間伐後）

工夫・留意した点

- 町が独自に導入しているGISに各業務の進捗を入力し実行管理を行った。（意向調査結果、現地調査結果、集積計画作成状況、森林整備実施状況など）
- 間伐箇所については、林内環境の改善が必要な森林のほか、世界遺産のコアゾーンとなっている中尊寺及び毛越寺周辺の景観及び有害鳥獣被害の改善が必要な森林においても実施した。
- 針広混交林かつ下層植生が繁茂している状態を目標とし、間伐に際しては極力広葉樹を残しながら実施した。

取組の効果

- 現地調査結果を踏まえ、令和6年度中に集積計画を2件45.24ha（うち人工林38.74ha）作成した。
- これまでに集積計画を作成した森林のうち累計17.57haにおいて間伐を実施し、森林環境が改善した。

基礎データ

①令和6年度譲与額：4,708千円	②私有林人工林面積（※1）：795ha
③林野率（※1）：48.4%	④人口（※2）：7,252人
	⑤林業就業者数（※2）：2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より